TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

# 神さまの知恵　内部の者 vs. 外部の者
コリントの信徒への手紙一 5 章 9～13 節

2025 年 2 月 8 日 & 9 日
余沢　武 牧師

## 1.　はじめに
こんにちは。アイリちゃんのための祈りをありがとうございます。手術は無事に終わりました。引き続きアイリちゃんの回復を祈っていきましょう。

コリントの教会がパウロ派とアポロ派とに分裂してしまったことを学びました。その中にはある男性の性的な不道徳を見て見ぬふりをしていた人もいたようです。

パウロは、悔い改めない人を教会から除名するよう求めました。そして、「誠実」で「真実」であること、嘘や偽りのない姿勢を持ち、神に喜ばれることだけを願うよう求めました。今日は、「クリスチャン」と「ノンクリスチャン」への見解の違いについて学びます。祈りましょう。

## 2. 内部の者 vs. 外部の者
(1) 外部の者たち
コリント一 5:9－10 を開きましょう。
「[9]私は前の手紙で、淫らな者と交際してはいけないと書きました。[10]それは、この世の淫らな者、貪欲な者、奪い取る者、偶像を礼拝する者と一切交際してはいけない、ということではありません。もしそうだとしたら、あなたがたはこの世から出て行かなければならないでしょう。」

パウロはこれより前の「手紙」で、「性的に不道徳な人々と関わらないように」と伝えたようです。

コリントの教会の人は、これを「ノンクリスチャンと関わらないこと」だと考えたようです。彼らも、次のような人々だったからです。
淫らな者。性に関する考え方で、ポルノを見たり、男女の結婚の枠を超えた性的関係を持つことです。

私が大学や大学院にいた頃、恋人同士が性的関係を持ったり、同棲したりするのが普通だったことを思い出します。実際、性的関係を持っていなかったカップルの記憶がありません。それがこの世です。

貪欲な者。これは持っているもの以上を「むやみに」欲しがり、時には他人を不当に利用することです。

宗教改革者のマルティン・ルターが、ある男性に破門を宣告しようとしたことは有名です。その男性は、30 ギルダーで購入し、インフレの効果を利用して 400g ギルダーで売ろうとしました。

これこそが「貪欲」です。状況の利用の仕方や他人からできるだけ多く利益を得ることしか考えないことです。この世の考えでは当たり前です。

「奪い取る者」。人を欺いて搾取しようとする人です。

「貪欲」と「奪い取る者」という言葉を並べることで、パウロは、人をだますような手段で他人からものを奪う人について言いました。世の中では、こうした行為を「ビジネスの才覚」と見なすこともありますが、聖書ではこれを「淫らな者」と同じくらい道徳に反するとみなしています。

偶像を礼拝するもの。私たちは、仏教、神道、特に先祖崇拝が根付いた国に住んでいます。多くの人は、神棚や仏壇の彫像や木の札に、霊が宿っていると信じています。

その人たちにとって、その像や物に祈りることは、神仏や亡くなった親族への愛と敬意を誠実に表現する行為です。そのため、それに参加しないことは、家族にとっては、信仰の違いではなく、かつて親交のあった亡くなった人への「無礼な行為」とみなされることがあります。

この世の人達はそう考えて生きています。パウロは、「いや、その人たちと共に罪を犯さないように。でも、彼らと関わるのをやめる必要はありませんよ。そんなことをしたら、この世から出て行かなければならないですよ」と言っています。

(2) 内部の者たち
コリントー 5:11 です。
「11:今度はこう書きます。きょうだいと呼ばれる人で、淫らな者、貪欲な者、偶像を礼拝する者、人を罵る者、酒に溺れる者、奪い取る者がいれば、そのような人とは交際してはいけない、一緒に食事をしてもいけない、ということです。」

パウロが関わるのをやめるべきだと言っているのは、「兄弟姉妹だと称しながらも、罪を犯すことを何とも思わない人々」です。

自動車メーカーによっては、従業員が自社製の車を購入するとき割引があるそうです。会社側は、全従業員に自社の車に乗ってほしいのです。

考えてみれば、三菱の販売員がトヨタ車に乗っている人に三菱の車を売ろうとするのに、自分がトヨタ車に乗っていたら、相手は三菱の車を買おうと思うでしょうか？ いいえ。販売員は「三菱の車はぜんぜん良くない」と暗に相手に伝えることになります。

これは、「自分はクリスチャンだ」と言い、「イエスを通して罪から解放される」と世界に伝えているのに、自分自身が次のような人だということになります。
性的な不道徳。ポルノや、結婚前や結婚外の不道徳な関係にはまっている。貪欲で奪い取る者。他人からお金や物を得ようとずるい手を使う。偶像を礼拝する者。偶像や亡くなった人の霊を拝み線香を供える。言葉の暴力。これは口を開けば他人をけなしたり、傷つけたりして、自分が他人よりも優れているかのように振る舞うことです。

教会では、多くの人が奉仕をしていますが、それは各分野で優れているからではありません。必要を感じ、それに応えようと自ら進んで身を捧げています。

もしクリスチャンが奉仕者たちを見下してこう言ったら、「あの案内係はひどい、あの音楽担当は最悪、あの教師はダメ、何にしたって使えない」、まるで上司のように振る舞ったら……。

こういう人物は、淫らな者、貪欲な者、偶像を礼拝する者と同じくらい教会に害を与えます。もちろん、奉仕に改善の余地がないとは言いません。しかし、奉仕の改善は決して、傲慢で傷つけるような言葉の暴力によってはもたらされません。

酩酊する。私は個人的にお酒を飲みません。ただ、飲酒自体は罪ではないですが、酩酊することは罪です。アルコールの扱い方によって、神に栄光を帰すこともあれば、教会に害を与えることもあります。

パウロは、不道徳、金銭問題、偶像崇拝、言葉の暴力、酩酊などの理由で教会の規律に抵触している人に対して、「一緒に食事をしてもいけない」と言っています。その人を主の晩餐式や教会の交わりの食事に参加させてはいけません。個人的な食事については慎重な判断が必要です。訓練としての目的を損なわない形で行うべきです。つまり、交わりから外されることを通して悔い改められるように。

なぜ「教会の規律」がその人にとって重要なのかを説明しましょう。教会には、生まれ変わったクリスチャンと、まだの人が混在しています。しかし、イエスが「麦と毒麦のたとえ」で教えたように、だれがそうであるか私たちは判断できません。

ですから、いわゆるクリスチャンが罪を犯したとき、その人は次のどちらの可能性もあります。本当に生まれ変わったクリスチャンで、罪によって後戻りしているので励ましが必要。イエスに真の意味で人生を捧げていない。

そして、その人が罪に囚われているときに、交わりから外されると、もし霊的に後退しているクリスチャンなら、自分の罪の深刻さを悟り、立ち返るでしょう。もし生まれ変わっていないクリスチャンなら、初めて自分の信仰に何かが欠けていることに気づくでしょう。 もし教会にそのまま受け入れられていたら、欠けている何かには決して気づかないでしょう。

いずれにしても、裁きの日には気づくことになるでしょうが、それでは遅いのです。だからこそ、教会の規律は、このような人々が救われるために極めて重要です。

パウロは 12－13 節でこのように続けています。
「12:外部の人々を裁くことは、私の務めでしょうか。あなたがたが裁くべき者は、内部の人々ではありま

**せんか。13:外部の人々は、神がお裁きになります。『あなたがたの中から悪人を除き去りなさい。』」**

教会として、私たちの役割は外部の人々を裁くことではありません。彼らは神の裁きのもとにあるのです。

気づきましたか？ この手紙の中で淫らな者と同じくらい罪深いにもかかわらず、まったく言及されていない人物がいます。パウロの継母です。なぜでしょうか？ 彼女はクリスチャンでなかったのです。教会の外部の人を裁いたり非難したりしないのです。

私たちが陥りやすい罠があります。それは、教会内の罪ではなく、外部の人々を裁くことです。

クリスチャンが、ノンクリスチャンの政府関係者が神社に参拝することを批判するのを聞いたことがあります。一方で、家庭で仏壇や先祖の霊を拝んだり、偶像を拝むクリスチャンには何も言いません。

また、クリスチャンが、ノンクリスチャンの性的な不道徳、同性愛関係や同性婚などを批判するのをきいたことがあります。一方で、ポルノを見たり、婚前に性的な関係を持つクリスチャンには何も言いません。あるいは、貪欲や言葉の暴力、酩酊についても同じかもしれません

もちろん、愛をもって真実を語ること自体は間違いではありません。しかし、私たちが理解すべきなのは、この世に必要なのは「私たちの批判」ではなく、「神の知恵」だということです。

思い出してください。クリスチャンになる前は、私たち自身も、淫らで、貪欲で、偶像を拝み、言葉で人を傷つけ、酒に溺れていました。誰かに諭されたところで、笑い飛ばしたでしょう。

変わりたいとも思わず、変わる理由もなかったのです。実際のところ、たとえ自分を律して行動を改めたとしても、神の目から見れば罪深いことに変わりはなかったのです。

私たちを変えることができたのは、ただ一つ「イエス・キリストの福音」、つまり「神の知恵」でした。福音を通して、神は私たちの心に触れてくださいました。私たちは自分の罪を自覚しはじめました。ある日、「赦してください」「助けてください」と神に向かって叫びました。そして、神の力によって、私たちは変えられたのです。

自分の肉の欲に逆らいながら、どうにか、もう不道徳に生きたくない、もうお金に頼りたくない、もう偶像を拝みたくない、もう人を傷つける言葉を話したくない、もう酒に溺れたくないと願っているのです。

教会は、「この福音による」証しをこの世に示す存在です。

パウロは言いました。「神の知恵」、つまり「福音」に目を向けなさい。なぜなら、それこそが「神の力」だから。これこそが教会の本質です。これこそが、私たちがこの世に提供するものであり、ただ行動を改善するだけではないのです。

もし、あなたがまだイエスを主であり救い主として受け入れていないなら、あなたの罪を「赦し」、あなたを「救い」、あなたを「変える」ようイエスに求めてください。イエスは必ずそうしてくださいます。今日こそ、求めましょう。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0725jp

**★クラス 401**
人生の使命を発見する
2月9日(日)1pm - 5pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 まで修了したメンバー

**★クラス 101**
教会員になるためのメンバーシップクラス
2月16日(日)1pm - 5pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

各クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

## 奉仕者募集中！

**1．日本語訳字幕作成（1名募集）**
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

**2．週末礼拝メッセージ翻訳（3名募集）**
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

**3．日本語訳レイアウト＆印刷（女性 2 名募集）**
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。